

## 令和元年司法試験 合格体験記

平成27年度修了（未修コース）木本 綾子

こんにちは。10 期末修の木本綾子です。私は佐賀大学経済学部を卒業後、岡山大学法科大学院にお世話になり、4 回目の受験で司法試験に合格しました。

これから司法試験を受験される皆さんの一助になればと思い、以下、私が勉強の際に意識していたことを3点述べさせていただきます。

1点目は、条文文言を軸に論文を書くことです。勉強を始めた当初は知っている論点を答案に書くことで精一杯でした。しかし採点実感や他者の起案を読むうちに、条文への言及を疎かにしている起案は評価が良くないことに気がつきました。この点を意識して起案をするようになってからは、論文の評価も上がりました。

2点目は、時間を意識することです。私はもともと筆が遅く、時間内に納得のいく起案を書くことができていませんでした。そこで、答案構成までを20分以内に終えるというルールを決め、これを遵守しました。これを続けているうちに、答案構成のスピードだけでなく精度も上がったのは嬉しい誤算でした。

3点目は、読みやすい答案を書くことです。私は長い間、合格できないのは自分に知識が足りないからだと考えていました。勿論そういう面もあるのですが、それ以上に読みやすい文章というものを理解していなかった事が大きく影響していたのではないかと思に至りました。そこで、可能な限りたくさんの起案を添削してもらい、読みやすい表現や流れを習得することに取り組みました。

最後になりますが、今、受験生の皆さんはとてつもない不安を抱えて必死に勉学に励んでいることと思います。苦しいでしょうが、自分が後悔しないためにも最後までやり抜いてください。周りにはみんな、頑張っている皆さんのことを応援してくれています。

忙しい中たくさんの起案を添削して下さった先生方、九州でも勉強を続けられるようにと助力して下さった職員の方々、落ち込んでいた時に励ましてくれた家族や友人にこの場を借りて心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。